

第2回 操縦士の疲労管理に関する検討会 議事概要

1. 日時: 2018年11月12日 13:30～15:30

2. 場所: 国土交通省4階特別会議室

3. 出席委員: 伊藤委員、井上委員、河内委員、高橋委員、細谷委員

4. 議事概要

- 第1回検討会で議論された検討の方向性を踏まえ、7月から10月までの第1期実態調査において、合計210便の調査を行ったことを報告。
- 引き続き、乗組員3名の便に関して、11月から第2期実態調査を行うことについて出席委員から了承を得た。
- 調査データの統計的有意性を検証する必要があるのではないか。
- 今回の調査はあくまで実態としての状況を確認したうえで、基準策定の参考とするためのものであり、母数が少ない中で統計処理してしまうと、実態の本質をかえって見失う恐れがある。
- 安全基準を策定する場合、最悪のデータについても目を向けて評価するといった観点も必要である。
- 実態調査の目的は、日本独自の新しい考えを導き出すのではなく、あくまで先行している欧米基準を参考に差がある部分等について、実態調査の結果を参考にすることで、日本としての状況を踏まえた基準を作成するという方向性が良いのではないかと。また基準を作成し、これをチェックし改善を図っていく取り組みが必要である。
- 今後の進め方について、現行基準にはどのような課題があるのかという観点で関係者に意見を伺うことは大事である。

以上